

公益社団法人 新潟法人会

会報

NIIGATA HOHJINKAI KAIHOH

2020
vol.142

令和2年2月10日



梅の木で羽根を休めるジョウビタキ

法人会は「企業の発展を支援し、地域の振興に寄与する経営者の団体」!

会員増強運動実施中

会員の皆様には、是非、1社につき新規会員1社獲得を目標に
あなたのお仲間企業を会員に!

消費税期限内納付
法人会 一声運動

新潟市中央区西堀通
3番町258番地24
にいがた法人会館
電話 (223)-1242
FAX (225)-5699

あけましておめでとうございます

— 2020年新春対談 —



新潟法人会

会長 木口 聖也 氏

新潟税務署

署長 塚本 真一 氏

—— あけましておめでとうございます
—— 本日は塚本署長と木口会長の新春
対談をお願いいたします。

さて、昨年は、平成から令和への
改元があり、消費税10%および軽減
税率の導入もありました。まずは、
令和元年を振り返って、ご感想など
をお聞きたいと思えます。

署長 あけましておめでとうございます。
ます。

新潟法人会の皆様におかれまして
は、健やかな新年をお迎えのことと
お慶び申し上げます。昨年中は、木
口会長をはじめ、役員や会員の皆様
には、税法研修会の開催や租税教育
の推進などにつきまして、格別のご
理解とご協力を賜り厚くお礼申し上
げます。

令和元年となった昨年は、元号が
変わったこともあり、変化を感じる
一年だったと思います。

その中でも昨年は、10月に消費税
率上げと軽減税率の導入をいかに
定着させていくかという大きな問題
がありました。これについては、法
人会の皆様をはじめとする関係団体

の方々のご協力もあり、大きな問題が生じることなく、全体的には、円滑に施行されている状況にあります。が、個々の取引においては様々な課題も把握されています。

これから、制度改正後の申告が行われることとなりますが、納税者の皆様が戸惑うことなく的確に申告ができるよう、区分経理や記帳の仕方など、より実践的な内容の周知を実施していきたいと考えています。

また昨年は、日本各地で地震や水害など大きな災害が発生しました。被災された皆様には、心よりお見舞い申し上げます。ここ新潟市近隣では大きな被害が発生しませんでした。が、ここ数年の状況を見ますと、いつ災害が発生してもおかしくないと考えます。そのため、今後の災害に備え、他の地域の取組を参考に備えていかなければと考えています。

昨年は、ラグビーワールドカップが開催され、日本全体が大きく盛り上がりました。今年は、東京オリンピックやパラリンピックが開催されますが、私もとても楽しみにしております。

また、昨年は韓国との関係悪化の影響もあり、新潟へ来県した外国人が減少したと聞いています。新潟の経済の活性化のためにも、早く関係が修復され、オリンピックなどで来日された外国人や観光客など多くの外国人が新潟に来ていただくことを期待しています。

会長 あけましておめでとございます。

塚本署長はじめ新潟税務署の皆様、そして新潟法人会の会員の皆様におかれましては、新たな気持ちで令和の新春をお迎えのことと、お慶び申し上げます。

確かに署長のおっしゃる通り、消費税の10%への引上げと軽減税率の導入はインパクトの大きい変化でした。新潟法人会でも、5回の消費税制改正に関するセミナー・研修会に合計392社の申込みがあり、会員のみなさまの関心の強さがうかがわれました。

また、災害については、特に台風15号と台風19号による風と河川の氾濫の被害が甚大でした。新潟県内でも長岡地域等で浸水の被害が発生し

てしまいました。被災された皆様には、心よりお見舞い申し上げます。もに、一日も早い復興をお祈りいたします。

明るい話題として、ラグビーワールドカップでのベスト8は大いに盛り上がりました。東京オリンピック・パラリンピックに向け、スポーツに関する明るい話題がますます増えて、多くの人に元気と活力を与えてくれることを期待しています。

—— 新年に当たり、塚本署長と木口会長の今年の抱負をお聞かせください。

署長 先ほども触れましたが、昨年からは施行された改正消費税に関しましては、申告がこれからとなります。また、令和5年10月からは適格請求書等保存方式といういわゆるインボイス制度が導入されることが予定されています。

このようなことから、今後、国の基幹税となることが予想される消費税を事業者の方が正しく理解されるよう、周知・広報や的確な相談体制を構築するなど、いろいろ取り組んでいかなければならないと考えてい

ます。

軽減税率の導入に当たって、キャッシュレス決済を用いたポイント還元による負担軽減が実施されています。「キャッシュレス化」はポイント還元のほか、使ってみたら簡単とか便利という感想を持たれた方が多いのではないのでしょうか。

税金の納付方法についても、電子納税、ダイレクト納税、クレジット納税などのキャッシュレス納付があります。このような納付方法を利用していただければ、簡単・便利だけではなく、企業の事務効率化に大きく寄与することとなり、その効率化した部分が他の業務に投下できれば、利益につながることで、多くの企業にご利用いただくことで、その地域のICT化が進展することになります。

地域のICT化は、各企業にも行政側にも大きなメリットがありますので、この取組にも力を入れていきたいと考えています。

会長 消費税の引上げと軽減税率の導入はまずまずのスタートとなったと思いますが、署長がおっしゃる通



り消費税制改正後の確定申告期はこれからですし、今後も税制改正は随時実施されていくと思います。新潟法人会としては、機を捉えてセミナー・研修会を開催し、引き続き、税の啓蒙活動の推進と税務コンプライアンスの向上に努めてまいりたいと考えています。

消費税引上げに伴うポイント還元制度は、キャッシュレス化の進展に大きく寄与したと思います。私もキャッシュレス決済の利用でポイント還元を活用していますし、この機会に様々なキャッシュレス決済の利用を始めた方を多くみかけます。ICT化の進展が、私たちの生活

をより便利に、より快適にしてくれることを期待したいと思います。

——さて、著しく変化する社会経済情勢において、税を取り巻く環境も変化し続けています。この状況において、法人会の更なる飛躍に向けての課題や方向性などについてご意見をお聞かせ頂きたいと存じます。

署長 公益社団法人である新潟法人会は、地域企業と地域社会の健全な発展に貢献することを目的に、老人福祉施設へのタオルの寄贈、献血活動などの社会貢献活動や、税務に関する研修会や租税教育にも積極的に実施していただいております。

一方、経済社会のICT化や国際化の進展、生産年齢人口の減少やライフスタイルの多様化など、社会情勢が大きく変化する中、法人会には会員の増強や活動の充実などの課題があるかと思えます。

各企業の立場に立つて考えますと「法人会に加入してよかった。」「法人会に加入したい。」というメリットを感じるものがあれば、会員は増加・活性化していくものと考えられます。

各企業の立場が異なることから、この問題に対する特効薬を見つけることは大変なことと思いますが、まずは、地域社会への貢献活動や地域振興策に参画することにより法人会の名を広めることが重要ではないかと思えます。

法人会の活動が地域に認知され、その存在が高まることにより、その会員となつている企業もイメージアップすることになれば、企業も法人会に加入する意義を感じるものと考えます。

法人会の活動において、新潟税務署がお役に立てることがあれば、可能な限り協調してまいりたいと思います。

会長 ありがとうございます。

塚本署長のおっしゃる通り、新潟法人会の会員数の減少をストップさせ、増加に転じさせていくことが大きな課題となっています。多方面での新規会員の勧誘活動が奏功し、会員の減少スピードは徐々に低下してきていますが、退会理由として、依然として「廃業」が多いことは憂慮すべき事態と考えています。

これからの法人会活動を充実させ、知名度を上げていくためには、安定した財政基盤の確立が必要で、法人会の財政基盤は、会員の皆様の「会費」と提携保険会社からの「手数料収入」によって成り立っています。この会費収入を維持していくためにも会員減少を食い止めるこ

とが不可欠であり、そのためにはたゆまぬ勧誘活動が必要となりますので、引き続き皆様のご協力をお願いいたします。

—— 今年はいよいよオリンピッククイヤーとなります。塚本署長と木口会長が普段から健康について心掛けていたことがありましたらお聞か



せください。

署長 自分の体に対しては無頓着で今まで特に気にすることなく過ごしてまいりました。そのため、特に、運動することもなく、のんびりと食べたいものを食べるなどしてきました。

昨年7月に新潟に来て以来、新潟の食べ物がおいしく、今まで以上に多くの量を食べていたのか、最近、体重が早いペースで増加しているの、で、手ごろなウォーキングを始めようかと思っています。

会長 ウォーキングは私も心掛けています。趣味のゴルフを事故やケガなく楽しむために、体力づくりとして、朝夕できるだけ歩くようにしており、今年も継続していきます。

—— 最後になりますが、塚本署長から何か一言ありましたらお願いいたします。

署長 いよいよ令和元年分の所得税等の申告が始まるうとしています。所得税等の確定申告の際には、国税庁ホームページ「確定申告書等作成コーナー」をご利用いただくと、計算誤りがなく、簡単に確定申告書

が作成でき便利です。さらに、マイナンバーカードを利用する「マイナンバーカード方式」、又は、ID・パスワードを利用する「ID・パスワード方式」によりe-Taxで提出していただくと、一部の添付書類の提出が不要となる上、書面で提出する場合より還付金を早く受け取ることができます。

また混雑している確定申告会場に出向くことなく、ご自宅等からパソコンやスマートフォンで24時間ご利用いただけます。特に、スマートフォンの場合には、見やすい専用画面をご利用いただくことにより、確定申告書がより簡単に作成でき便利です。

ぜひ、このことを会員や従業員の皆様にお知らせいただき、より多くの方にご利用いただけると幸いです。

—— 塚本署長と木口会長には貴重な時間をいただき感謝いたします。会員の皆様にも本年が実り多き年になるよう祈念し、新春対談を終わらせていただきます。ありがとうございました。

令和元年分の確定申告は

スマホで申告！ 自宅で作成・送信

1 「国税庁ホームページ」へアクセス

- 👍 申告会場に行く手間がかかりません！
- 👍 確定申告期間中は 24 時間いつでも利用できます！

(注) 確定申告期間以外の利用可能時間やメンテナンスによりご利用いただけない時間帯については、e-Tax ホームページでご確認ください。

確定申告



申告書の作成はこちらから！

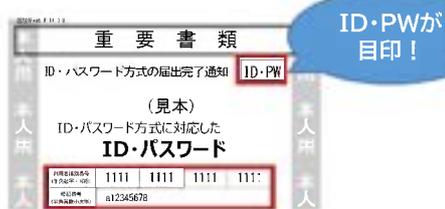


2 申告書を作成

- 👍 画面の案内に従って金額などを入力するだけで申告書が作成できます！

3 e-Tax で送信して提出

IDとパスワードで送信



※ID・パスワードは事前に税務署で取得いただく必要があります。
※既にID・パスワードの届け出をされた方は番号をご確認ください。

マイナンバーカードを使って送信

ご用意いただくものは次の2つです！

- ①マイナンバーカード対応のスマホ ②マイナンバーカード
又はICカードリーダライタ



一部の端末



- 👍 印刷して郵送等で税務署へ提出することもできます！

プリンタをお持ちでなくても、コンビニエンスストア等のプリントサービス(有料)を利用して印刷できます。



新潟税務署の申告会場は

大変混雑

します。

所得税等の申告相談は、
朱鷺メッセ(令和2年2月17日～3月16日)
で行います。

※この期間、新潟税務署庁舎内での申告相談は行っていません。



来場してから申告手続きが完了するまで、
平均2時間(最大3時間超)
の時間を要しています。

申告会場で
作成

自宅で作成



消費税確定申告書を作成するためには、「区分経理」が必要です。



令和元年10月1日から消費税の軽減税率制度が実施されました。これに伴い、仕入れや経費に軽減税率（8%）対象品目がある場合、消費税確定申告書を作成するためには、仕入れや経費を税率ごとに区分して帳簿に記載する「区分経理」を行う必要があります。

また、消費税の申告で仕入税額控除の適用を受けるためには、原則^(注)として「区分経理」をした帳簿の保存が必要です。

帳簿の区分経理・記載事項

毎日の売上げ・仕入れ（経費）を税率ごとに区分して帳簿に記載しなければなりません。

	令和元年9月30日まで 【請求書等保存方式】	令和元年10月1日から 【区分記載請求書等保存方式】
帳簿への記載事項	<ul style="list-style-type: none"> 課税仕入れの相手方の氏名又は名称 取引年月日 取引の内容 取引の対価の額 	左記の記載事項に加え ・軽減税率の対象品目である旨

税率区分

適用時期 区分	令和元年9月30日まで (以下「旧税率」といいます。)	令和元年10月1日から	
		軽減税率	標準税率
消費税率	6.3%	6.24%	7.8%
地方消費税率	1.7% (消費税額の17/63)	1.76% (消費税額の22/78)	2.2% (消費税額の22/78)
合計	8.0%	8.0%	10.0%

帳簿から消費税確定申告書を作成する際のイメージ（経費の例）

帳簿（経費）

2019年 月 日	内容	金額
8 XX	水道光熱費 (市)	△,△△△
∴ ∴	∴	∴
11 XX	会議費※ (○商店、お菓子代)	□,□□□
	会議費 (○商店、文具代)	□,□□□
11 XX	接待交際費※ (○屋、お菓子代)	□,□□□
∴ ∴	∴	∴
	2019年合計	○○○,○○○

(旧税率対象) 旧8%対象 ▲▲▲▲▲
 ※軽減税率対象品目 8%対象 ■■■■■
 10%対象 ●●●●●

消費税確定申告書を作成する際、旧税率8%、軽減税率8%及び標準税率10%を区分して計算する必要があります！

消費税申告書 付表2-2（令和元年9月30日までの取引分）

	6.3%分	旧税率分小計
課税仕入れに係る支払対価の額	▲▲▲,▲▲▲	◇◇◇,◇◇◇

消費税申告書 付表2-1（令和元年10月1日からの取引分）

	6.24%分	7.8%分	合計
課税仕入れに係る支払対価の額	■ ■ ■ ■ ■	● ● ● ● ●	◎ ◎ ◎ ◎ ◎

(注) 1 帳簿及び申告書付表は記号を簡略化しています。
 2 経費に係る取引は、全て課税取引として記載しています。

このシリーズは新潟で活躍されている方々をご紹介します。

シリーズ 人 に見がた発見

共読する事

新潟青陵大学短期大学部 人間総合学科
准教授 孫犁氷さん



プロフィール

1971年6月5日、中国黒龍江省ハルビン市生まれ。
新潟青陵大学短期大学部人間総合学科准教授(2011年4月より現職)。ほか、新潟県労働金庫理事、一般財団法人ろうきん福祉財団理事を兼任。新潟東ロータリークラブ会員。
〈学歴〉
1992年7月 中国ハルビン師範大学中国語言語文学

学部を中退、9月来日。
1994年4月 新潟大学経済学部入学。
2006年3月 新潟大学大学院現代社会文化研究科博士課程修了(経済学博士)。

〈翻訳書〉

『国家と「私」の行方』東巻、西巻、松岡正剛(著)、春秋社
『呉敬璉、中国経済改革への道』呉敬璉(著)、曾根康雄(監修)、バリー・ノートン(編集)、エヌティティ出版
『中国現代童話集 愛ママ弁当』、冰波(著)、中国童話の会(翻訳)、新潟日報事業社

—— 今回のシリーズは孫犁氷さん、新潟青陵短大人間総合学科准教授でいらっしやいます。早速ですがお生まれは？

中国の黒龍江省ハルビンの出身です。来日して27年になります。

—— 中国から日本、新潟にいらしたのはどうですか？

正直、日本にはあまり興味なかったのです。学生時代は英語を一生懸命勉強して、機会があればアメリカへ留学したいと思っていました。しかしアメリカが中国人の留学ビザの発給制限する様になりアメリカ行きを断念せざるを得なくなりました。そんな中、父が黒龍江省の政府に勤めていたのですが新潟県の県費留学で1年間、新潟大学で学ばせていただきました。その時の父の友人が私の身元引受人になってくださるという事で日本に留学する事になりました。

—— 日本語は話せたのですか？

全然。私はハルビン師範大学で中国の文化と文学を専攻していましたが。英語は勉強していましたが日本語は全くできませんでした。

—— できないままで日本へ？

来日前に父から3か月の猛特訓！中国のテレビ放送の日本語講座です。初級だけでも分厚いテキストが2冊、これを丸暗記しました。

—— それで話せる様になりましたか？

大丈夫だろうと思ったのですが、来日後に身元保証人の方の会社でアルバイトさせていただけの事になったのです。その初日に職場の皆さんに「はじめまして、おめでとうございます」とあいさつをしてみたいと笑いされました。

—— それで学校はどこへ？

NSGのアップル外語観光カレッジ(当時)に1年半、ここでかなり日本語ができる様になりました。その後、新潟大学経済学部へ、更に大学院に進みました。

—— 経済学部での研究テーマは何でしたか？

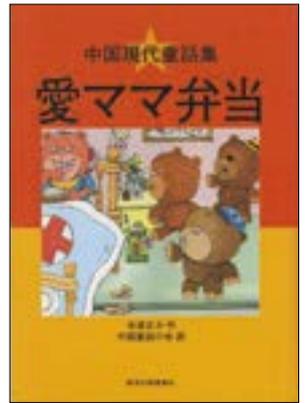
私は日本経済を中心に学んでいて、博士論文は『日米経済関係の非対称性構造について』でした。

—— この後に青陵大学へ行かれるのでしょうか？

そうですね。青陵短大で非常勤を10年務め、その後、正規採用になりました。以来、中国語のほか、世界経済入門、外国為替入門、観光実務などの科目を担当しています。

—— 先生はいろいろな本を翻訳、出版されていらっしやいますね？

そうですね。一番最初は「愛ママ弁当」という童話集ですね。2002



年の発刊です。また新潟大学の学生で修士課程の頃です。当時の私の願いは日本と中国の相互理解を深めると言う事でした。そこで私の周りの中国語を学んでいる仲間達で「中国童話の会」を作り、覚えた中国語を生かせる機会を、と企画したのです。

—— こちらの本はご専門の経済学の本ですか？



「呉敬璉（ご けいれん）著、中国経済改革への道」ですね。呉敬璉さんは現在90歳、中国経済学の第一人者の方です。私も含めて翻訳グループの先生方の間でも最も尊敬を集めていらっしゃる経済学者です。

—— 今回、松岡正剛先生の著書「国

家と「私」の行方」（東巻・西巻）を翻訳されて、中国で上梓されましたが、そのきっかけを教えてください。



松岡正剛先生は「知の巨人」と言われる方です。「NARRASIA（ナラジア）」という言葉をご存知ですか？私が初めて聞いたのは鳩山元首相がとある国際会議でのこのNARRASIAについて話された時です。NARRASIAとは奈良県が平城京遷都1300年を迎えた記念事業の名称です。趣旨は日本、奈良はシルクロードの終点としてこれ迄数々の恩恵を受けてきました。これからは日本、奈良が東アジアの国々へ還元していくという考えです。この「NARRASIA」と言う言葉を作ったのが松岡先生なのです。私はこの考えに感動し、ぜひ一度お会いしたいと思っていました。そして2010年11月にその機会がやってきました。東京青山スパイラルホールで松岡先生の「連載」

と言うイベントが行われました。このイベントに参加した私は名刺を握りしめ松岡先生にごあいさつしました。

—— 松岡先生とのつながりができたのですか？

とてもラッキーでした。松岡先生からご推薦いただき、私はNARRASIA委員会（日本と東アジアの未来を考える委員会）の委員になる運びになりました。2011年2月から2014年3月までの三年間、私は60回ほどの研究会やフォーラムに参加し、日本各界におけるトップクラスの専門家や学者との交流を通じて、「奈良—アジア」に対する理解を深めることができました。

—— 先生がこの本に取り組まれたきっかけを教えてください。



上海書店での発刊イベント

この本の日本語原書のテーマ「国家と「私」の行方」は私の人生のテーマでもあります。私が最も関心を持つ国家は二つあります。中国と日本

です。中国と日本の関係の行方は私にとって最も大きな課題なのです。この本を学生にも勧めているのですが松岡先生の文章は情報の密度があまりにも高くて学生達は読み慣れないのです。そこで中国の皆さんに読んでもらい、中国で評判になれば学生も読むのでは？と思ったのです。

—— 何とか学生の方々に読んで欲しいのですか？

はい。学生達は目の前の就職、将来の生活等も大事ですが同時に新潟という地域と関わり、いろいろな人や物事と関係を作っていく事も大事だという事を考えて欲しいのです。

—— 良い本ができましたね。

昨年、松岡先生へもお見せし、喜んでいただきました。

—— これから新潟で孫先生がやりたい事は何ですか？

共読する、本を皆で読み合う事ですね。OECDの学習到達度調査で日本の15歳の生徒の読解力が落ちていくという結果が出ています。これはスマホ等のせいでなく読書の習慣が無い為です。そこで私は必ずテキストと参考資料を徹底的に読ませます。その上で講義に入ります。まずは共読する事が大切です。

—— 判りました。本日は興味深いお話ありがとうございました。

新潟探訪 No. 41

— にいがた文化の記憶館 —

Vol. 2

近代日本美術界で活躍した偉人群

【新潟探訪は141号より5回に渡り「にいがた文化の記憶館」の特集をお送りいたします。】



5階に「にいがた文化の記憶館」が入っている新潟日報メディアシップ

日本の明治から昭和前期に渡る近代美術分野で活躍した新潟県人を、美術思想家・岡倉天心門下の東京美術学校派、それと対立したグループとに分けて見れば、実に面白い相関関係がみえる。



岡倉天心

本美術院の活動拠点として、山荘を建てたが果たせず、病身の晩年を赤倉山荘で過ごし、終えんの地となった。こんな具合で新潟県は近代美術家の群像とゆかりの深い土地柄なのである。

■西洋美術が日本の伝統美術か

岡倉天心と最初に対立したのは小山正太郎である。西洋文明の導入を急ぐ明治政府が1876(明



小山正太郎

治9)年、工部美術学校を創設し、外国人教師による西洋美術教育を推進した。そこで頭角を現したのが小山で、たちまち助教になった。しかし西南戦争による財政難となった政府はこの学校を閉鎖。そして1889(明治

20)年、伝統美術の復興というスローガンの下で東京美術学校(現・東京芸術大学)が創設された。ここでは工部美術学校とは真逆の日本の伝統美術工芸に限るという教育方針が採られた。この方針を巡って国粋主義の天心と、欧化主義の小山が論争を戦わせた。東京美術学校から排除された小山ら洋風美術家は「明治美術会」を結成して対抗した。だが、東京美術学校は明治美術会員でパリ帰りの黒田清輝を引き抜き、洋画科の教授に迎え、不毛な論争は終止符となった。

■美術史から消された尾竹三兄弟

ところで尾竹三兄弟を知っているだろうか？明治・大正の文展(のちに帝展、現在の日展)で銀賞や銅賞という事実上の最高賞に輝き、大衆の称賛を浴びた竹坡、国観の兄弟、そして長兄の越堂の3人だ。尾竹三兄弟は新潟市の染物屋を



尾竹三兄弟。

左から竹坡、越堂、国観

営む家に生まれた。越堂(1868~1931)は新潟新聞の挿絵を描くなどの仕事をし、弟の竹坡(1878~1936)、末弟の国観(1880~1945)は朝市で自作絵を売ること在家計を助けていた。その後、越堂は富山へ移り、売薬版画の下絵師となって人気を博し、新聞挿絵から絵馬などを描きまくっていた。そこへ竹坡と国観が続いた。富山では職人も抱えた工房として大盛況だったという。新潟時代の国観は12歳で、児童雑誌『小国民』の全国児童画コンクールで一等賞をとって期待され、その後、17歳ころまで同誌の挿絵や口絵を描くほどだった。その後、竹坡と国観は富山から上京し、竹坡は川端玉章門下、国観は小堀鞆音門下に入り、メキメキと実力を発揮し、当時の絵画展で受賞を重ねた。横山大観ら東京美術学校出身の作家らをはるかに

しのぐ人気で、作品も高値で売れ
たという。

その後、竹坡と国観は岡倉天心が主宰する国画玉成会員となり、美術学校派と合流したものの、1908（明治41）年に同会審査員選びで紛糾し、竹坡は「岡倉の馬鹿野郎」と怒鳴り、弟・国観とともに退会、搬入した作品も撤去し、袂を分かった。

しかし、1907（明治40）年の東京勸業博覧会で国観の『手柄話』が二等賞、1909（明治42）年の第3回文展で国観の『油断』が二等賞、竹坡の『茸狩』が三等賞、1910（明治43）年は竹坡の『おとづれ』、1911（明治44）年は竹坡の『水』が二等賞、国観の『人真似』は三等賞と上位を独占して気を吐いた。

だが、横山大観ら美術学校派が台頭し、文展の審査員に入った1913（大正2）年の第7回文展には兄弟そろって落選した。当時の新聞各紙は「兄弟を快からずとする審査員が彼らの作品を外したのではないか。審査に公明を欠く」と報じた。いわゆる「文展事件」である。それでも国観は1915（大正4）年の『血路』で三等賞と実力を発揮した。

一方、直情的な竹坡は、文部省の美術行政を批判にして衆院議員選挙に立候補するが、あえなく落選。

以後は選挙費用の借金返済のため乱作となり、作品売価も急落。画商はじめ美術評論家も美術学校派に追随して潮を引いたように去り、三兄弟は美術史から忘れ去られた。だが昨今は再評価の動きもみられ、三兄弟の作品展が散見される。

竹坡の門人には落谷虹児がいる。一門にいたことが美術界では不利になっただろうが、少女向けの抒情画で新境地をひらき、その挿絵は小説家三島由紀夫や中国の文学者魯迅に称賛された。

■天心に見込まれた実力者・古径

天心に見込まれた画家が小林古径。古径は16歳で上京し、挿絵画家・



小林古径
梶田半古の門下で学び、たちまち頭角を現す。17歳

の1900（明治33）年、日本絵画協会・日本美術院連合第8回共進会出品の『竹生島』が三等、第9回では『一の谷』が一等となる。翌年の第10回出品の『春霞』は二等、第11回の『敦盛』が一等。さらに1902（明治35）年の12回共進会では『女三の宮』、13回の『妙音』がともに一等賞と大活躍。こんな頃、天心が古径の住む長屋を訪れ、日英博覧会（ロンドン）向け

に、前田藩が江戸期に雇用した町火消しをテーマに描くように依頼した。その作品が『加賀鷹（かがとび）』である。古径は天心の死後の1914（大正3）年に再興された日本美術院同人に推挙された。わずか31歳だった。以後も院展で活躍し1944（昭和19）年、東京美術学校教授に就任、1950（昭和25）年に文化勲章に輝いた。日本画の系統には歴史物語を題材にした「大和絵」で新境地をひらいた岩田正巳（1893～1988、三条出身）も忘れられない。

■京都画壇で気を吐く麦僊・晁勢

東京美術学校創立に先立つ1880（明治13）年、京都府画学校が開校し、カリキュラムは大和絵、西洋画、漢画。まず竹内栖鳳の画塾で学んだ土田麦僊は、その後、



土田麦僊
画学校で学んだ。画学校の仲間である小野竹喬や麦僊

らは文展の審査に不満を持ち、京都で国画創作協会を結成し、東洋美術と西洋美術の融合による日本画の革新を目指す運動を展開した。運動の理論的支援をしたのが麦僊の弟で哲学者の土田杏村（1891

～1934）だった。

工部美術学校が閉校したことから京都府画学校に移ったのが三輪晁勢（1901～1983、長岡市＝旧与板町出身）。堂本印象に師事し、



三輪晁勢
1931年の第12回帝

展で『春丘』、その後の第15回帝展で『東山』がそれぞれ特選に選ばれた。1962（昭和37）年には『朱柱』で日本芸術院賞を受賞し、のちに芸術院会員となった人物である。

当館作成の相関図を見れば、近代美術の巨匠たちの足跡をたどり、新分野を開拓する明治大正の激しい息吹を感じ、美術史を新たな眼で観ることができるとはないだろうか。

（にいがた文化の記憶館

常務理事・事務長 武藤 斌）

にいがた文化の記憶館

〒950-0088

新潟市中央区万代3-1-1

メディアシップ5階

TEL 025-250-7171

FAX 025-250-7040

随想

夕やけこやけ



「一本も入っていない……」



日本海不動産株式会社
代表取締役社長
坪谷 寛行

私は24年前に初めて勤めた建材会社を退職した後、日本海不動産に入社しましたが、入社前に貯金を使い2ヶ月程アジアの一人旅をしていました。

最初に韓国のソウルに行きました。宿の予約も取らず、現地を探し回り3畳1間のトイレ・バス共同の1泊1,500円の宿に泊まりました。そこで3日ほど滞在しましたが、もう少しいい宿に泊まりたいと思いプレジデントホテルに行きました。当時1泊10,000円程でしたが財布の中を見ると8,000円しかなく、銀行に行く手間も面倒だった為、その場でフロントスタッフに財布の中身を

を全て見せ、「これしかないけどお願います」とジェスチャーしたらあっさりOKでした。この方法は海外で割と通用しました。昼間は主に観光をしていましたが、国際運転免許を取ったのでレンタカーを借りて街中を運転していました。その後、プサンに行き、新潟でいうバイパスのような道で運転していましたが、私が100キロ程で走っていてもどんどん追い抜かれ、韓国人はスピード狂だと思われられました。

次に香港に行きました。ガイドブックで安価でフカヒレを出す店があったので食べに行きましたが、出てきたものはフカヒレが一本も入っておらず落胆しました。気を取り直して、中国のシンセンに電車で向かいましたが、当時はものすごい建築ラッシュで非常に活気がありました。しかし、街中で5〜6歳位の女の子が赤ん坊を背負って私に近づいてきて「お金下さい」と手を出してきたり、昼間から化粧の濃い女性が手招きしてきたりと

様々な面が見える街でした。当時の中国では「エレベーターはどこか」と英語で聞いても通じないので「昇降機」と紙に書いたら分かったり、「オレンジジュース」が通じず「柑橘」と書いたら出てきたり、漢字文化でよかつたなと思いました。香港からマカオへ船で向かい街を探索しホテルに1泊しました。朝新聞を見ていたら、殺人事件の被害者の死に顔が何も隠すことなく掲載されていて、日本との文化の違いに驚きました。

その次はタイのバンコクへ行きました。街中観光でトゥクトゥクに乗せてもらいましたが、私のことを日本人だと分かると「ちよっと用事があるのこの店見ていて」と様々な店に連れて行かれました。宝石店では「日本よりも半値以下で買えるわよ」と店員にしつこく勧められて途中で面倒くさくなり、次の店で「あなた日本人？」と聞かれて「私は韓国人だ」と言ったら「あ、そう」といつてセールスしてこなくなりました。

このあと他の国にも行きましたが、当時の日本円は非常に価値があり、海外に出ると国内以上に豊かさを享受できました。私は最近、海外に行っていないですが大分様相も変わったことと思います。また時間を作った様な体験を試してみたいものです。

編集後記

この度、広報委員になりました双峰通信工業株式会社の樋口です。
今回、初めてインタビューから参加いたしました。他の委員の方々の見識の深さには驚きと羨望いたしました。少しでも近づけるよう頑張ります。
さて、今回のシリーズ「人にいがた発見」では孫先生の学生への指導は社会人でも共通することではないのかと考えさせられる内容でした。
新潟の文化的な資産、文化財はあまり話題にはなりません。実は素晴らしいものや先人がいらっしやいます。今回の新潟探訪は絵画です。詳細な時代背景と体系があり、読みごたえがあります。ぜひ一読ください。
今後よろしくお願います。

特別講演会のご案内

- 日時
令和2年3月7日(土)
午後1:30～3:00
- 会場
ホテル イタリア軒 3F「サンマルコ」
新潟市中央区西堀通7-1574
(駐車場には限りがあります)
- 講師
柔道家・タレント
しのほらしんいち
篠原信一氏
演題 「規格外」

